

## 平成27年度第3回狭山市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

開催日時 平成28年3月22日(火)

午後2時～午後3時

開催場所 狭山市役所3階 議会会議室

出席者 6名

欠席者 3名

市側出席者 総合政策部長、総合政策部次長兼基地対策課長、政策企画課長

議題等

1. パブリックコメントの実施結果について
2. 狭山市人口ビジョン(素案)及び狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について
3. 地方創生加速化交付金・推進交付金の概要について

質 疑

### (1) パブリックコメントの実施結果について

委員 企業誘致は農地転用が難しいため、立地可能な場所がない。工場が立地可能な場所を増やしてほしい。市内に工場を持っている事業者が、工場を拡張したいという要望も多い。

委員 企業誘致については、誘致の場所がないのが大きな課題。農業委員会と連携して積極的な活用を目指してほしい。また、市内企業の育成に力を入れることも重要である。今後は新しい企業と既存企業のバランスが大切となるのではないか。

市側 狭山市がどのような街なのかを考え、魅力発信していくことが必要であると感じている。

委員 定住促進まんがを見ると、知らなかったことが多く、あらためてプロモーションの大切さを感じた。積極的なプロモーションをお願いしたい。

### (2) 狭山市人口ビジョン(素案)及び狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

委員 転出人口は25年の6,477人から26年の6,024人に減っている。このことについて分析を行ったほうが良いのではないか。

市側 詳細な分析は行っていないが、転出超過が落ち着いてきている。

委員 パブコメにもあったが、若い人を呼ぶには保育所の倍増など、ニューコース性の高い思い切ったことをすることも必要ではないか。

市側 子育て支援のPRは必要と考えており、学力向上にも力を入れていきたい。近居支援については、近隣市と人口の奪い合いになることも考えられるが、子育て支援や介護問題の観点からも効果があると思うので、実施に踏み切りたい。

### (3) 地方創生加速化交付金・推進交付金の概要について

委員 総合戦略の取り組みの予算化は。

市側 交付金を活用しつつ、市費単独でも目標に効果のある取り組みから実施していきたい。

委員 加速化交付金の再チャレンジと推進交付金はどのような事業を充てるのか。

市側 未定であるが、いずれも積極的に活用していきたい。